

静岡県内勤労者の仕事と生活意識調査(第15回)

【1000人を超える静岡県内勤労者から回答】

●調査時期/2023年5月 ●回答者総数/1219名(男616名、女603名) ●調査方法/インターネット調査
静岡県内在住の勤労者約1000人を対象としたWEB調査。2016年5月の初回以来、年2回定期的に実施。
2023年5月の今回は第15回目の調査となった。

性別

男性	女性
616	603
50.5%	49.5%

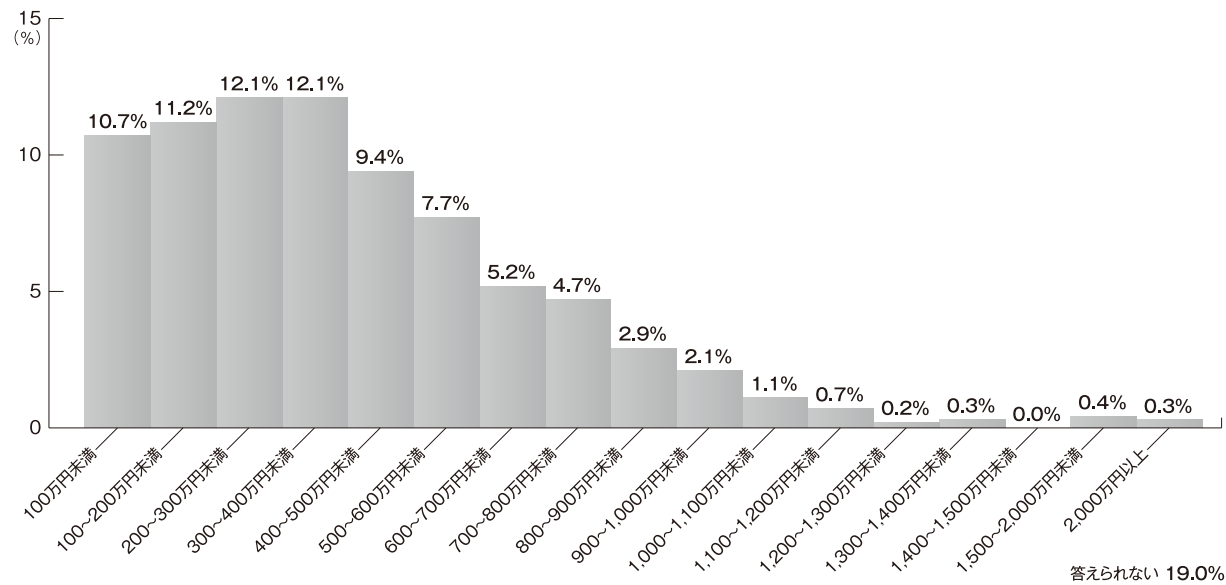
年齢

20歳~29歳	30歳~39歳	40歳~49歳	50歳~59歳	60歳以上
99	277	360	368	115
8.1%	22.7%	29.5%	30.2%	9.4%

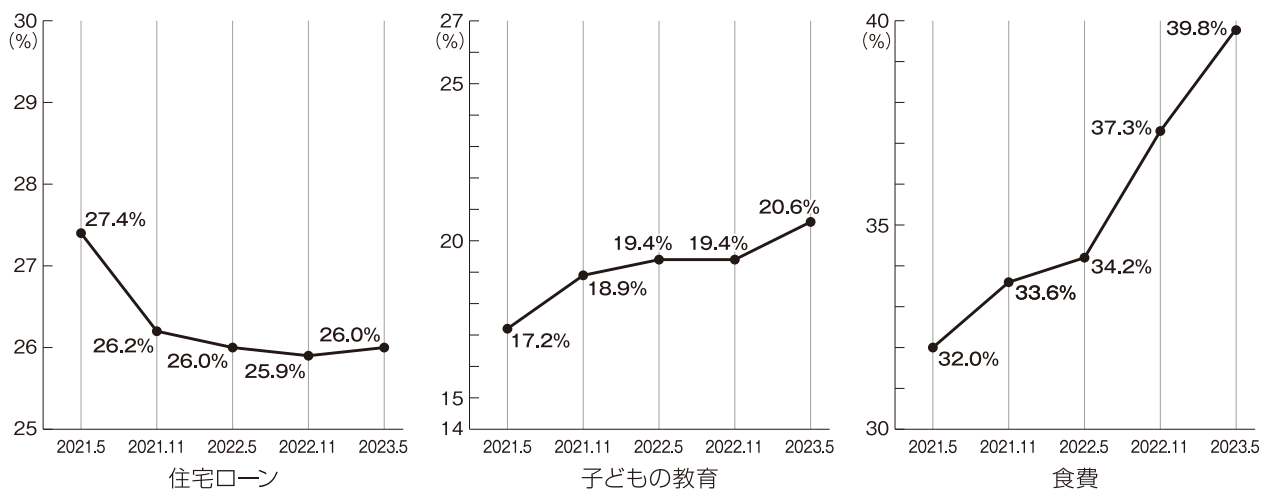
雇用形態

正規社員	非正規社員
778	441
63.8%	36.2%

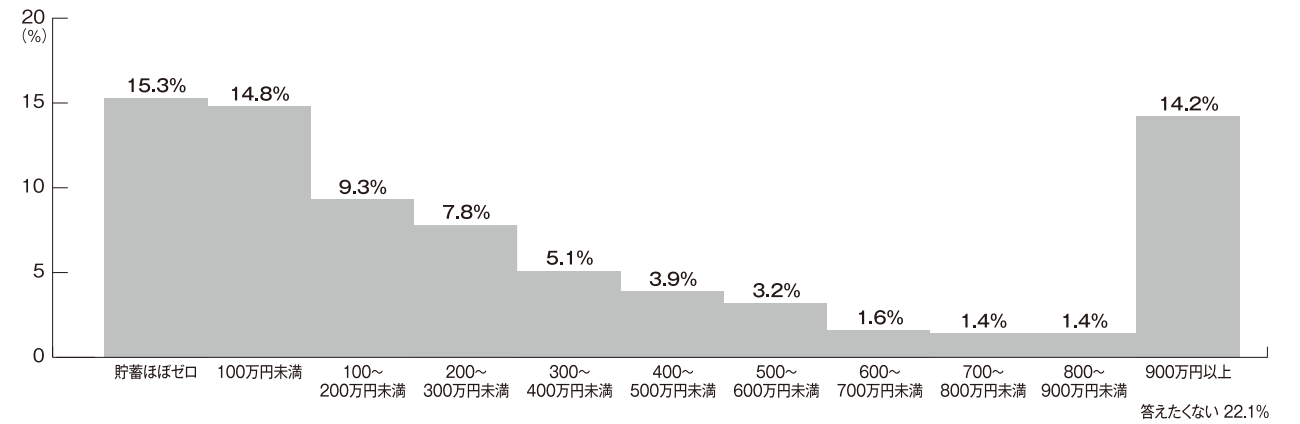
本人の年収



現在あなたの家計支出で「大きな負担」と感じているもの (複数回答・一部抜粋版)

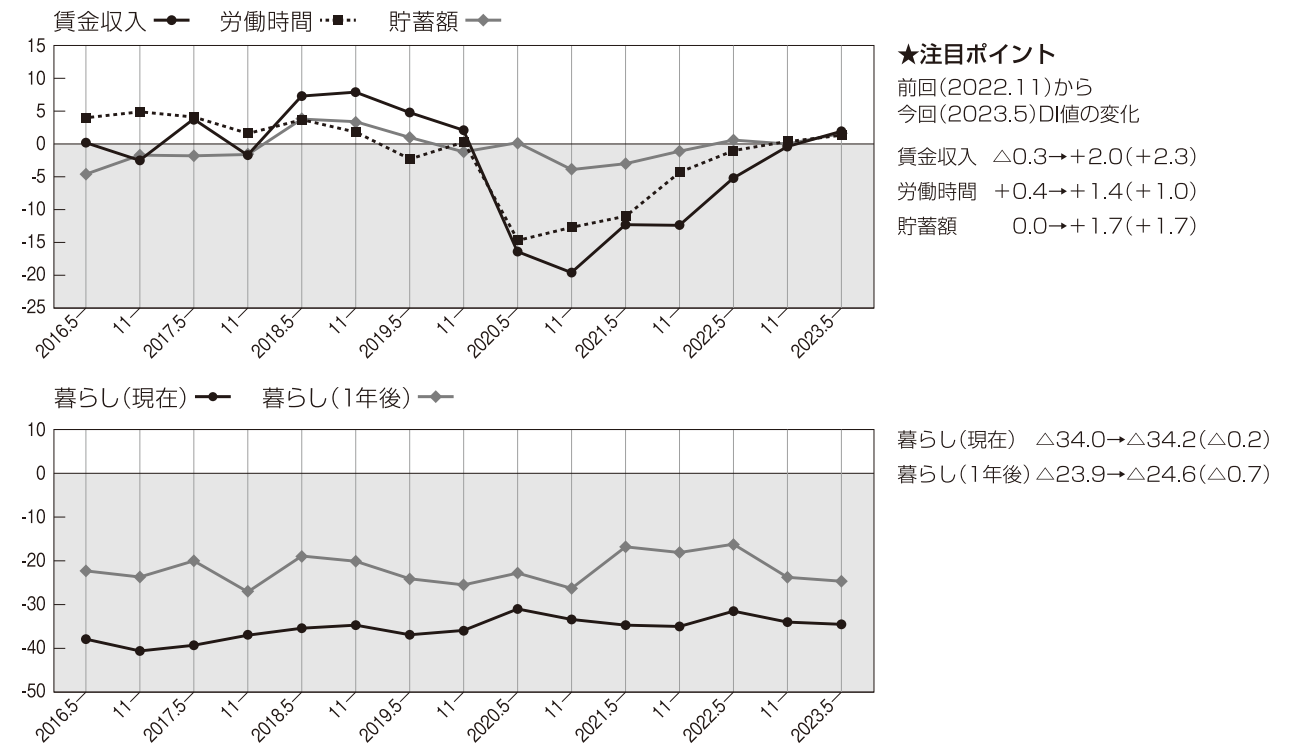


貯蓄額



勤労者DI-Diffusion Index 選択比率の差から動向を把握するための指標

「賃金収入」「貯蓄額」: 1年前と比べて「増えた」・「変わらない」・「減った」
 「労働時間」: 1年前と比べて「長くなった」・「変わらない」・「短くなった」
 「暮らし」(現在): 「余裕がある」・「普通」・「厳しい」
 「暮らし」(1年後): 「ゆとりがでる」・「変わらない」・「苦しくなる」・「わからない」



今回調査の注目ポイント

- 食費の負担感が増している
「現在、あなたの家計支出で「大きな負担」と感じているもの」についての質問で、「食費」と回答する割合が増加している。1年前の2022年5月調査では34.2%だったものが、同年11月調査では37.3%に上昇、今回調査では39.8%とさらに上昇し、1年前に比べて5.6ポイント増加している。2022年来の食品価格の値上げの影響が表れていると考えられる。
- 暮らしの実感、先行きは改善が足踏み
勤労者DI推移について、賃金収入、労働時間、貯蓄額はいずれも前回調査(2022年11月)と比べて改善したが、改善幅は縮小している。「暮らし」は現在、1年後ともにやや悪化した。経済状況の好転、賃金上昇等の影響は表れているが、物価上昇などの影響もあり、生活状況の実感や先行きには改善がみられない。